



JIS 図記号と ISO 図記号の整合の考え方（事例紹介）

■ 整合とみなすポイント

- ① イメージコンテンツ〔図材と相対的な配置〕が整合している
- ② 機能〔定義〕が整合している
- ③ 図の細部については、視認性・理解度の観点等から、多少の変更は認める。



例 1 タクシー／タクシー乗り場

JIS			ISO		
5.2.6 タ ク シ ー ／ タ ク シ ー の り ば Taxi/ Taxi stop	【図材】 タクシーの正面図とアルファベットの大文字の "TAXI"。		ISO700 1TF 008 Taxi stop or taxis	【図材】 Front view of taxi cab with word TAXI incorporated into the symbol	
	【機能】 タクシー輸送施設及びタクシー乗降所を表示			【機能】 To indicate the location of taxis	

- ①図材 : タクシーの正面図と大文字の TAXI はどちらの図記号でも使われている。
- ②機能 : 一致
- ③図の細部 : JIS では TAXI の文字が拡大されている。（視認性が良い。）

結論 : 違いは図の細部だけであるので、この場合は整合しているとみなす。

例2 レンタカー

JIS			ISO		
5.2.7 レ ン タ カ ー Rent a car	【図材】 乗用車の正面図とレンタカーを表すアルファベット大文字”R”のサイン		ISO7001 TF 009 Rent-a-car or car rental/hire	【図材】 Front view of car with key above	
	【機能】 車両貸し出し施設を表示			【機能】 To indicate the location of car rental/hire facilities	

①図材 ： 乗用車の正面図は一致しているが、それ以外が JIS では大文字 R、ISO では鍵のマークとなっている。

②機能 ： 一致

③図の細部 ： R と鍵が一致していない。

結論 ： ①の図材が一致しないので、整合していないとみなす。